

おあしす連携だより

2023年
10月発行

vol.12

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号 TEL 0763-32-3320 <https://www.med.tonami.toyama.jp>

産婦人科の紹介



産婦人科
主任部長 佐々木 泰
Sasaki Yasushi

関係各位の皆さん、平素より大変お世話になっております。市立砺波総合病院産婦人科についてご紹介させていただきます。当科は私が赴任した2017年より、医師4人体制で診療にあたっております。

診療内容

当科では次にあげる疾患と正常妊娠・分娩に対して、常勤医師4人と大学からの非常勤医師の応援を得て24時間体制で対応しています。

【婦人科】良性腫瘍（子宮筋腫、卵巣腫瘍など）、悪性腫瘍（子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、外陰癌など）、絨毛性疾患、性器脱、婦人科内分泌疾患、子宮内膜症、更年期障害、不妊症、性感染症など

【産科】正常妊娠、切迫流早産、子宮頸管無力症、合併症妊娠など

当科の特徴

1 富山県西部（呉西地区）の中核をなす基幹病院として産婦人科全領域に対応しています。婦人科領域では、良性・悪性腫瘍の早期発見から根治療法まで集学的治療（手術・放射線・化学療法）を行っている他、（できるだけ自然に近い方法での）不妊治療、更年期障害の治療（ホルモン補充療法、漢方療法）などを行っています。産科領域では、自然分娩はもとより合併症妊娠の管理・分娩や産科救急疾患に対応しています。



エコーによる胎児の様子

- 2 癌の化学療法に関しては、可能な限り入院治療を回避し、外来化学療法を積極的に行っており、科学的根拠に基づいた標準治療プロトコールで安全な抗癌剤使用を基本にしています。
- 3 婦人科手術において侵襲の少ない内視鏡手術を積極的に行っており、現在では婦人科手術全体で良性疾患（子宮筋腫、卵巣囊腫など）の7割以上、子宮摘出手術の半数以上を内視鏡手術で行っています。内視鏡や子宮鏡などの低侵襲手術の積極的な導入により、術後の回復が早く入院期間の短縮や早期の職場復帰が可能になってきています。子宮筋腫や卵巣囊腫などの腹腔鏡手術では、入院期間は5～6日間です。
- 4 産科において早産が予想される症例に関しては、当院小児科の協力を得て、妊娠週数33週以降・胎児の推定体重2,000g以上を自院管理の一つの目安として対応させていただき、それ以外は富山県の周産期連携システムに従って高次施設と連携して対応しております。

以上、簡単に紹介させていただきました。砺波医療圏の先生方におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション科の紹介



リハビリテーション科
部長 中波 晓

Nakanami Aki

リハビリテーション科は、“障がい”とともに生きる人のためにあります。現在の障害を把握し、ご本人ご家族の目標・目的を確認した上で、リハビリテーション処方や自主訓練、家庭内での訓練、障害とのつきあい方などの指導、装具処方、障害診断などを行います。

○補装具(下肢装具、車いすなど)の相談・処方

例えば、短下肢装具の多くは1年6か月を過ぎると新しいものを作成できます。下肢の状態にあった装具を処方する必要があるため、医療保険で作成する場合と障害者手帳を利用して作成する場合があります。当院では月・水曜日の10:00～13:00は富山県義肢製作所、火・木曜日の10:30～14:00は金沢から済世館の義肢装具士が、月曜日の昼頃にはウィルの担当者が来院しています。装具処方には担当の義肢装具士と診察しますので、作成する会社のご希望がある時はその曜日にあわせて診察しています。車いすや座位保持装置は作成する会社の担当者と予定を調整します。



短下肢装具装着時の例



○障害診断

障害の原因となった疾患を発症した日から、6か月ほどで症状の改善がないと身体障害者手帳、高次脳機能障害が残っている方は精神障害者保健福祉手帳の対象となる場合があります。発症後1年6か月の時点で、65歳未満で障害のために仕事ができない方は障害年金申請が可能です。いずれも関節可動域や筋力などの計測、高次脳機能障害の場合は神経心理検査が必要で煩雑な場合があるので、当科でも診断書を作成しています。

○「リハビリテーションをしたい」と希望される方には

当院は急性期リハビリテーションを中心に行っています。障害の原因となった疾患を発症した日から半年以内の期間が目安で、症状に変化がなくなれば終了としています。この時期を過ぎた方には、維持期であれば介護保険サービスの利用をお勧めします。これまで介護保険サービスを利用していない方には、外来でリハビリテーション指導を行いながらサービス利用開始までをサポートする場合もあります。障害を得てから生活の場を整えたり、生活環境でのリハビリテーションが必要な場合には、訪問リハビリテーションをお勧めし手続きします。

この他にも、筋痙攣の治療や嚥下障害の診断、高次脳機能障害者のサポートを行っています。各種障害や社会保険サービス利用など、何かご相談がありましたらご紹介下さい。今後ともよろしくお願ひいたします。

連携医療機関のご紹介



医療法人社団ナラティブホーム
ものがたり診療所
(内科、脳神経内科)

さとう のぶひこ
理事長 佐藤 伸彦 先生



住み慣れた地域で最期まで暮らしてもらえるための
在宅医療を提供します ~aging in place~

2009年に砺波市山王町で設立した医療法人社団ナラティブホームは、2010年に「ものがたり診療所」、「ものがたり診療所太田」を開設し、2011年には「ものがたり診療所庄東」を開設いたしました。内科、脳神経内科を標榜し、近くに診療所がない地域で暮らす方も安心して受診できるよう努めています。また、機能強化型在宅療養支援診療所として24時間365日の在宅医療を提供し、地域に根差した在宅医療、終末期医療に取り組んでいます。

2020年11月には砺波市太田に拠点を移し、終末期医療の枠組みを超え地域の皆さんのが安心して過ごせる空間を一緒に創っていく「ものがたりの街」を作りました。合言葉は、まさしく「DO IT TOGETHER」

ここは、地域の皆さんや子どもたちが一緒に学べる場所や誰もがいくつになっても楽しい

時間を過ごせる居場所を目指しています。落ち着いたカフェもありますので、近くにお越しの際にはお立ち寄り願います。

砺波医療圏の先生方には大変お世話になっております。今後とも、よろしくお願ひいたします。

砺波市太田1382 TEL 0763-55-6100

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~11:30	○	○	○	○	○	-

(月～金の午後は、訪問診療・往診 土・日曜、祝日は休診)

砺波市宮森461 TEL 0763-37-2566

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午後	13:00~16:30	-	-	○	-	-	-

(水曜午前、月・火・木・金・土・日曜、祝日は休診)

砺波市山王町2-12 TEL 0763-55-6635

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午後	13:00~16:30	○	-	-	-	-	-

(月午前、火・水・木・金・土・日曜、祝日は休診)



医療法人社団松風会
松岡病院
(精神科・神経科・内科)

まつおか ただす
院長 松岡 理 先生

精神保健指定医、
精神科専門医、
認知症サポート医



地域の精神科病院です

当院は小矢部市役所と三井アウトレットパーク北陸小矢部の真ん中あたりにある、精神科の病院です。おもに統合失調症、躁うつ病（双極性障害）、うつ病、神経症、不眠症、認知症、発達障害、てんかんなどの精神神経疾患の治療を守備範囲としています。最近は不登校、ひきこもり、アルコール関連や運転免許関連の相談にも数多くご利用いただいている。CTスキャンや脳波検査が可能で、臨床心理士による心理検査やカウンセリングが可能です。精神科リハビリと社会生活支援の領域に力を入れており、令和元年にデイケア棟を、令和4年に作業療法棟をそれぞれ

新築しました。さらに、以前から行っていた共同生活援助事業（グループホーム）の空室を利用して短期入所事業（ショートステイ）を新たに開始しました。焦らず緩やかに患者さんの着実な地域生活実現のお手伝いができるようになります。お困りごとのある方は、まずはお気軽にご相談ください。

小矢部市畠中町4-18 TEL 0766-67-0025

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	13:30~17:30	○	○	○	○	○	-

(土曜午後、日曜、祝日は休診)



柴田医院

(眼科)

しばた たかし
院長 柴田 崇志 先生



地域に根ざした眼科医院です

砺波医療圏の先生方にはいつもお世話となりありがとうございます。

皆様は最近のコンタクトレンズの種類がどのくらいあるかご存じでしょうか?昔は単純にハードコンタクトレンズと煮沸消毒にて使用するソフトコンタクトレンズに分けられていた物が、素材や高低含水等の区別を別にして、使い捨てソフトコンタクトレンズに限っても使用期間、遠近両用や乱視用など多種存在します。コンタクトレンズ処方希望者には、先ずはその使用目的やワンポイントか毎日使用かでも選択が変わります。その上に遠近両用か乱視対応が必要かなど考えて処方しなくてはならず、選択したコンタクトレンズを装用してみて違和感あれば変更して、また試みるなど手間が掛かる診察となります。

眼科専門医の教育では眼鏡やコンタクトレン

ズ処方に関する部分が疎かにされてきた感もあり。また、一度コンタクトレンズ処方の診察点数とすると、以後年数経っても再診扱いとなる規則もあり、眼科医の基本診療である視力矯正特にコンタクトレンズ処方が疎かになっている医療機関も存在します。

当院では視力矯正に関して永年力を入れてきました。眼鏡を合わせたい、コンタクトレンズを始めたい等の方は、直ぐに眼鏡店で合わせるのでなく、先ずは眼疾患除外の上検討しますのでご相談してください。

南砺市松原新1425 TEL 0763-22-2011

	受付時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:30	○	○	○	○	○	○ 9:00~13:00
午後	14:00~18:00	○	○	-	○	○	-

(水・土曜午後、日曜、祝日、お盆、年末年始は休診)

看護部のご紹介



感染管理認定看護師

高松 広彰

Takamatsu Hiroaki

令和3年12月に日本看護協会より感染管理認定看護師の認定を受けました高松広彰です。私は、当院を利用される患者さんやその家族、医療の現場で働く職員が感染の脅威から守られ、患者さんへ安全な医療を提供できるよう、日々の感染対策の実践を支援する活動を行っています。また、病棟

や外来などの現場へ赴き、情報共有や相談、支援など、組織横断的な活動も行っています。

病院の理念である「地域に開かれ、地域住民に親しまれ、信頼される病院」に沿って、院内だけでなく、老人保健施設への訪問や出前講座、医療機関との連携会議にも参加し、地域に向けた活動も少しづつ行っています。

感染対策はひとりで行うものではなく、現場で働く職員や、時には患者さん、家族等、みんなで行うことが地域での感染症流行を防ぐうえで大切です。これからみなさんとの関わりを通して、日々の感染対策のお手伝いができればと思います。今後ともよろしくお願ひします。



薬剤科 のご紹介



薬剤科では、「薬物治療の支援を通して、患者さんにより良い医療サービスを提供する」ことをモットーとして日々の業務に臨んでいます。私達のおもな仕事をご紹介します

■ 調剤室

薬剤部門システムを介した調剤を行っています。

医師が電子カルテで発行した処方オーダーのデータは、薬剤科の調剤支援システム制御端末から処方箋・薬袋印字システム、散薬調剤システム、錠剤自動分包機、水剤鑑査システム等に送信されます。同様に、注射オーダーのデータも注射薬自動払出システムに送信されます。これらの調剤機器を介して調剤を行うことで、調剤ミスを防止し、業務の効率化を図っています。

■ DI(医薬品情報)室

医薬品情報の収集、管理、院内周知活動などを行っています。

製薬会社、官公庁、薬業関連団体から発出される医薬品情報を収集、整理し、必要に応じて、院内に情報発信しています。また、電子カルテに搭載する医薬品情報一元管理システム「JUS.D.I」を電子医薬品集として活用し、職員全員が利用できるよう管理しています。院内各部門からの、医薬品に関する問い合わせにも対応しています。

■ 病棟業務

病棟担当薬剤師が入院患者さんの薬物療法を支援します。

薬剤師は、患者さんの入院時に、アレルギーのチェックや持参薬鑑別を行います。

また、手術や検査に先立って、薬の服用方法に変更指示がある場合は、入院までの服薬支援を行い、遵守状況についても確認します。入院中は随時、患者さんに処方薬の服薬指導を行い、使用状況の把握、副作用の確認などを行います。

■ 注射薬の無菌調製

抗がん剤、高力口リー輸液の薬液調製を行います。

注射用抗がん剤の処方は、医薬品の飛散に伴う従事者の曝露リスクを低減するために、安全キャビネットや閉鎖式薬物移送システムを用いて無菌的に薬液調製を行います。高力口リー輸液の処方は、無菌室のクリーンベンチにて、無菌的に薬液調製を行います。



注射薬自動払出システム



錠剤自動分包機

スタッフ一丸となり、患者さんに安心、安全な薬物治療を提供できるよう努めています。

2023 市立砺波総合病院がん相談支援センター市民公開講座のご案内

地域の皆様に、前立腺がんに対する正しい知識や情報を伝えするために下記のとおり市民公開講座を開催します。参加費無料、申し込み不要です。お気軽にご参加ください。



- 日 時 令和5年10月29日(日)13:30~15:00(受付13:00~)
- 会 場 砺波市出町子供歌舞伎曳山会館 多目的ホール
- 講 演 「前立腺がんについて」

市立砺波総合病院
泌尿器科主任部長 一 松 啓 介 医師

場所はこちら↓



- ・がん相談支援センター・緩和ケアの紹介
 - ・医師・看護師による相談会開催(希望者対象)
 - ・パンフレットや試供品の提供
- お問い合わせ がん相談支援センター 担当 平 (0763) -32-3320

2023 市立砺波総合病院緩和ケア講演会のご案内

外部講師の先生をお迎えして、緩和ケアの講演会を開催します。
参加費無料、申込み不要、是非ご参加ください。



- 日 時 令和5年10月20日(金)17:30~18:30
- 会 場 市立砺波総合病院3階 講堂 (Zoom配信会場)
- 講 演 「緩和ケア病棟の実際の様子、
地域とのつながりについて」(仮称)



石川県済生会金沢病院 副院長 龍澤 泰彦 医師

アドレス: <https://zoom.us/j/99173891825?pwd=QlgrZWJwZ3VMRFgwN0RoUjRGWmRVQT09>
ミーティングID: 991 7389 1825 パスワード: 0810010

お問い合わせ がん診療部 緩和ケア科 担当 中本 (0763) -32-3320

2023 地域医療連携懇話会を開催しました

令和5年9月7日(木) 19:00~20:30 当院3階講堂において地域医療連携懇話会を開催しました。会場とZoomによるWEB参加を合わせ約50名の参加がありました。
お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



● 新任医師紹介 (17名)

講演1 「大腸癌 ~検診から最新治療まで~」

演者 外科部長 吉田貢一 医師

大腸癌発見のための検診の便潜血検査の有用性
当院のロボット支援下手術の利点について紹介



講演2 「炎症性腸疾患診療 ~最新の話題~」

演者 消化器内科主任部長 北村和哉 医師

糖漬瘍性大腸炎、クロhn病の最近の病態、診断、治療について紹介



記録的な猛暑がようやく収まってきた今日この頃、新型コロナウィルス感染症とインフルエンザの両方が流行しており、皆様、感染に注意していただければと思います。感染を気にせずリフレッシュできる場所として、「となみ夢の平スキー場」で開催する「となみコスモスウォッティング」にお出かけしてみてはいかがでしょうか。100万本の花が咲き誇りお出迎えしてくれます。
会期は10月7日(土)~15日(日)まで。



「おあしづ連携だより」に関するお問い合わせは、患者総合支援センターまでご連絡ください。

TEL 0763-32-8361 FAX 0763-33-1591 メール tgh-renkei@med.tonami.toyama.jp